

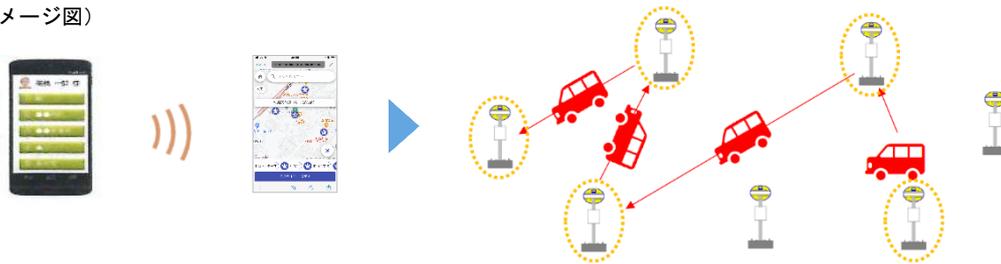
## AI 配車サービス実証運行について

### ○AI 配車サービス実証運行の概要

これまでの予約方法（前日までに予約）から要望に応じて即座に配車する「リアルタイムデマンド」へ予約方法を変更する実証運行を実施した。  
 （経済産業省の補助事業における実証地域の一つとして行う。）

実証運行の概要	
名 称	前山線オンデマンドバス
対象路線	前山線 1台 （小型バス（定員 14 人））
運行方法	既存バス停間運行（経路・順序は AI が最適なものを計算）
実施期間	令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 2 月 26 日
運 行 日	平日（月曜日～金曜日）
運行時間	午後 2 時 30 分～午後 5 時 00 分
乗車料金	100 円/回（小学生以下 50 円/回） ※減免については通常通り
予約方法	①スマートフォン ②電話（市または運行業者が代理入力）

（イメージ図）



### ○実証運行における利用者数

前山線 オンデマンドバス	利用者数	運行日数	1 日当たり 利用者数	利用が なかった日
前山線 オンデマンドバス	86 人	56 日	1.5 人	16 日
実証運行前 3 か月 (R2. 9～11)	44 人	61 日	0.7 人	31 日
前年度 (R1. 12～R2. 2)	82 人	57 日	1.4 人	1 日

※実証運行前 3 か月、前年度は前山線オンデマンドバス利用者と比較するため、運行時間が【上り】13：20～13：55，14：00～14：35，【下り】15：10～15：45，16：30～17：05 のデマンド便の利用者数である。

## ○予約受付状況

予約件数	133 件	100%※
降車済み	76 件	57.1%
確定後キャンセル	20 件	15.0%
確定前キャンセル	21 件	15.8%
失敗	16 件	12.0%

※小数点 2 位以下を四捨五入しているため、合計とは合致しない。

## ○利用者アンケート

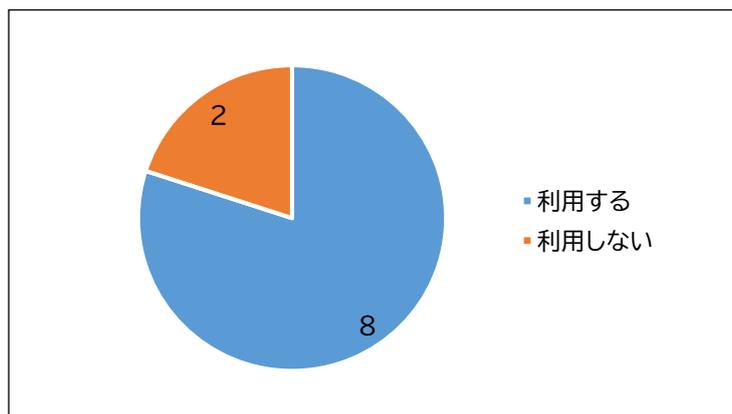
アンケート方法：事前に登録する利用者情報から、電話による聞き取りをした。

利用者実人数	12 人
回答者数	10 人

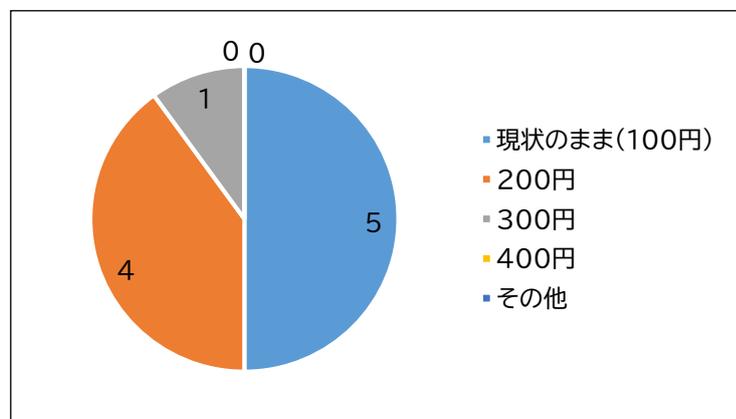
Q1 「前山線オンデマンドバス」を利用した感想を聞かせてください。



Q2 当日予約が可能な「オンデマンドバス」の実施エリアを“前山線のみ”から“市内全バス停”に拡大させた場合、阿賀野市内にあるバス停間を最短経路（例：水原駅から安田インター前）で運行できます。利用したいと思いますか？



Q3 “市内全域”を運行できる当日予約可能な『オンデマンドバス』に対する乗車料金（1回の乗車、運行距離関係なし）は、どの程度が妥当だと思いますか。



Q4 自由意見（要望など）

運行時間帯を広げてほしい。

電話予約の場合、時間がかかる。時間をもっと早く（13時〜とか）ならよかった。

待つ時間が長かった。時間帯をもっと早くしてほしい。

14:30～ではなく、もっと早くから利用できればよい。

自分は携帯から予約でき、簡単で良かった。ただ、年配の人は難しいのでは。

この取組を続けてほしい。出湯温泉とかも行ってみたい。時間帯をもっと長くしてほしい。

使用方法のわかりやすさが不足。直接説明を聞く機会があれば。周りにも一人暮らし高齢者は多いので、使いたい人はいると思うが、面倒くさがっている。

#### ○AI 配車サービス実証運行の所感

☑AI 配車サービスのメリットは、時刻表がなく利用者の時間に合わせられること、予約した人の乗降順番を自動的に判断してくれること、運行方向が柔軟であること。

☑利用した方は、その良さを実感できている。

☑デメリットは、予約の割り込みがあった場合に、先に予約していた方のお迎え時間が遅れてしまうこと。時間に余裕がない場合（例えば、何時までに到着しなければならないとき）には適しない。

☑利用者のデマンドに即座に対応するため、あらかじめの定期的な

利用（毎日または毎週何曜日、何時に何処まで）は運用上難しい。

予約自体は面倒ではないが、特に高齢者にはスマホを操作すること自体に課題がある。なかには携帯電話を持っていない人もいる。予約オペレーターの必要性は依然としてある。

#### ○実証結果の活用について

実証運行の結果を参考に、公共交通計画における施策等の検討を行いたい。